事例から学ぶため池改修（補修・補強）設計研修会（実務実践研修）プログラム
—— 実務実践研修で実務経験をプラスする ——

開催日時： 2019年8月1日（木） 10:30～16:50

8月2日（金） 9:30～16:30

会場：RCC文化センター 6階610号会議室（広島市中区橋本町5番11号）

主催：技術マネジメント研究所

講師：伊藤 純仁 氏

・所属：株式会社日設コンサルタント 代表取締役

・資格：技術士（総合技術監理部門、農業部門）、農業土木技術管理士、RCCM（農業土木）
一級土木施工管理技士、畑地かんがい技士、測量士、第2種情報処理、第2種下水道検定

・実績：老朽ため池に関する調査、計画、実施設計及び施工監理
老朽ため池に関する技術士会等での講師

[8/1]

1. 概 説 10:30～11:00

- ため池の概要 （歴史、現状、文化財、今後の展望）
- ため池の定義 （設計基準、基準の変遷、各県における基準）

2. 近年のため池被災事例 11:00～12:00

- 不可抗力に起因する事例 （老朽化、異常気象）
- 人為的なミスに起因する事例 （設計、施工監理）

3. ため池の構造についての基礎知識 13:00～16:50(10分休み)

- 土質関係の基礎知識 （土質の考え方、室内土質試験結果の読み方）
- ため池の構造 （基礎処理、堤体、洪水吐、斜樋、底樋、土砂吐、法面保護工）
- 各種堤体改修工法 （前刃金工法、グラウト工法、シート工法、ブランケット工法）

[8/2]

4. 堤体設計の考え方 9:30～10:30

- ボーリング調査結果の理解 （地質図の判断、堤体基礎地盤、現場透水試験値）
- 耐震を考慮した設計事例 （レベルIIの解析事例）

5. 洪水量算出・各施設の考え方 10:30～11:30

- 設計洪水量の算出 （確率の考え方、アメダス利用、採用降雨）
- 各構造物の考え方 （堤体、洪水吐、斜樋、底樋、土砂吐、法面保護工）

6. 施工監理における留意点 11:30～12:00

- 施工管理 （刃金土、翰土、グラウト）
- 各構造物の管理 （洪水吐、斜樋、底樋、土砂吐）

7. 新工法 13:00～14:00

- 設計における新工法 （氾濫解析、底樋管更生、堤体・洪水吐切下げ、リサイクル刃金土）
- 機器利用による調査 （堤体電気探査、底樋管内撮影用カメラ、ドローン）

8. 演習 14:00～16:30

- 基礎資料、写真等の配付、堤体標準断面の検討
- グループ討議
- 設計結果発表と質疑応答
- 老朽ため池計画・設計に関するQ&A

事前にQ（質問）のアンケート
を実施いたします。

◆業務予定などの都合による参加者交代は可能です。

◆この研修会は全国測量設計業協会CPD認定講習会(10ポイント)です。

建設系CPD連絡協議会に所属する(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)全国土木施工管理技士会連合会、(公社)農業農村工学会等で研修会を受講した旨の申請ができます。